

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.8
Q1 室内環境			0.40		-	3.0
1 音環境		2.4	0.15	2.6	1.00	2.4
1.1 騒音	【住居部】:診療室及び病室にて40dB	3.0	0.40	4.0	0.40	
1.2 遮音		2.6	0.40	2.2	0.40	
1 開口部遮音性能	【共用部】T-3、T-4 【住居部】T-3	5.0	0.40	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能		1.0	0.60	1.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	1.0	0.20	
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		2.3	0.25	3.4	1.00	2.5
3.1 昼光利用		1.8	0.30	3.6	0.30	
1 昼光率	【住居部】昼光率1.02	1.0	0.60	4.0	0.60	
2 方位別開口			-		-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御	【住居部】ブラインド有	2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気環境		4.2	0.25	4.0	1.00	4.1
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	【共用部・住居部】建築材料はF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	4.0	1.00	
2 アスベスト対策			-		-	
4.2 換気		4.0	0.30	4.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能	【住居部】自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上		-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮	【共用部・住居部】空気取り入れ口は、汚染源のない方位に設けられている。かつ、各種排気口と異なる方位でかつ共用部は6m以上、又は住居部は3m以上離れて設置されている	5.0	0.50	5.0	0.33	
4.3 運用管理		5.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視			-		-	
2 喫煙の制御	建物全体の禁煙が確認されていて、喫煙所は設置しない	5.0	1.00		-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.2
1 機能性		2.8	0.40	4.0	1.00	2.9
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性	個室18.0㎡/床、多床室9.03㎡/床~10.2㎡/床		-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応			-		-	
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化誘導基準(望ましいレベル)を満たしている	4.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.5	0.40	
1 広さ感・景観	病室の天井高さ2.5m		-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース			-		-	
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理		3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-	
3 衛生管理業務			-		-	
2 耐用性・信頼性		3.4	0.30		-	3.4
2.1 耐震・免震		3.8	0.50		-	
1 耐震性	水平耐力を25%増の構造設計としている。	4.0	0.80		-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水SUS(C)、給湯SUS(C)、排水VP(B)	4.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-	
2.4 信頼性		3.0	0.20		-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3 電気設備	非常用発電設備及び無停電電源設備を設置している。浸水による停電や情報網の損傷を回避する為に、地下外壁は2重壁とし、排水ポンプを設置している。	4.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備		2.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.4	0.30	3.3	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	3.6	0.50	
1	階高のゆとり	【共用部】1階4.6m 【住居部】4~6階3.7m	5.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	【共用部】1階0.15 【住居部】0.34	4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.8	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		2.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.3
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI 0.80	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.93 住宅(専有部) -	3.7	0.50	-	-	3.7
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI 0.93、LED照明設備を採用	3.7	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用			2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		自動水栓に加えて、節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生クラッシュラン(路盤)	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上材のディティールを採用している	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=94%	3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐輪場、駐車場及び管理用車両の駐車施設の確保している	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	・照度計算書により光源の検討を行った ・広告物照明なし	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	